Janis　楽れっと neu（ネオイー ユー）

FP220-1　08.06

施工説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意	● この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。 ● 施工後は必ず試運転を行ってください。 ● お客さまに必ず本書と取扱説明書や保証書をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

安全のために守ってください！

便器を安全に取付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
便器の取付前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取付けてください。

用語の説明

警告…「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意…「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ 警告

水につけたり、水をかけないでください。
※ ショート・感電の恐れがあります。
（100V電源使用の場合）

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常動作してケガをすることがあります。（100V電源使用の場合）

⚠ 注意

陶器は割れものです。
- 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
- 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。

※ 破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※ 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
（100V電源使用の場合）

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※ 火災・感電の原因となります。
（100V電源使用の場合）

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※ 感電・ショート・発火の原因となります。
（100V電源使用の場合）

交流 100V以外では使用しないでください。
※ 火災・感電の原因となります。
（100V電源使用の場合）

止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※ 漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引抜いてください。
※ 感電やショートして発火することがあります。
（100V電源使用の場合）

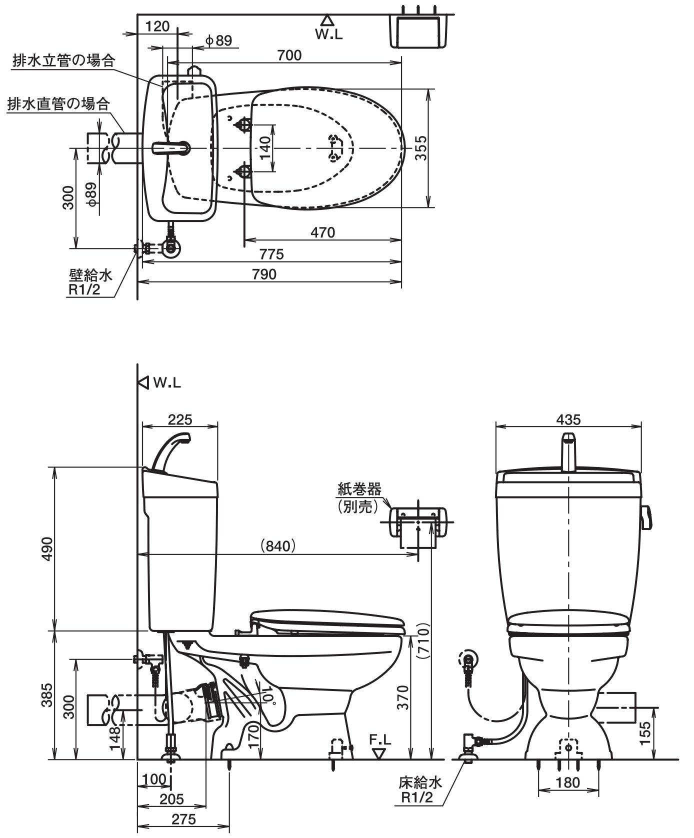
お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
※ 凍結破損で漏水し、家財等を濡らす恐れがあります。

施工完了図

床上排水

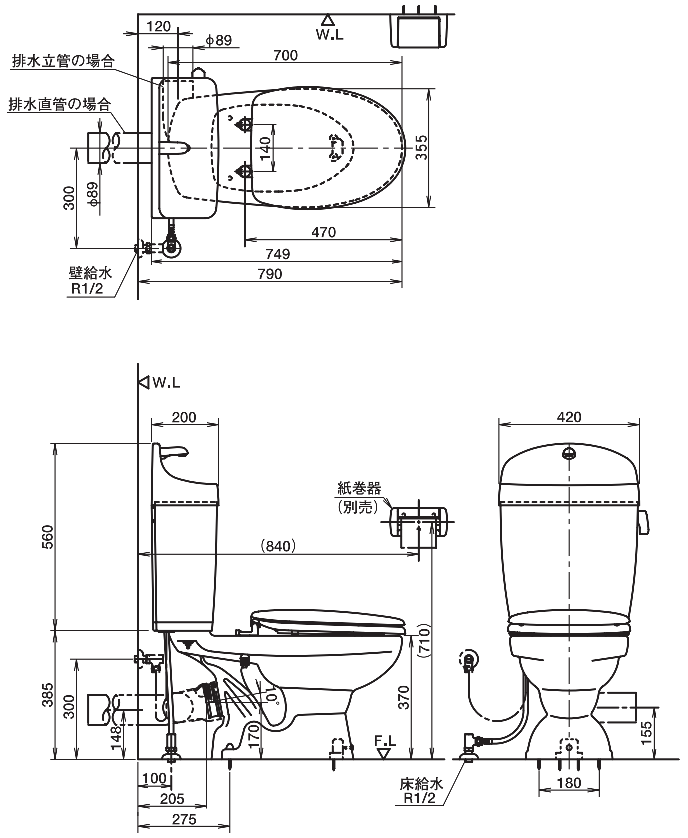
陶器製ロータンクの場合

排水管接続用パッキン（NC73G）・ベンド管は別途となります。



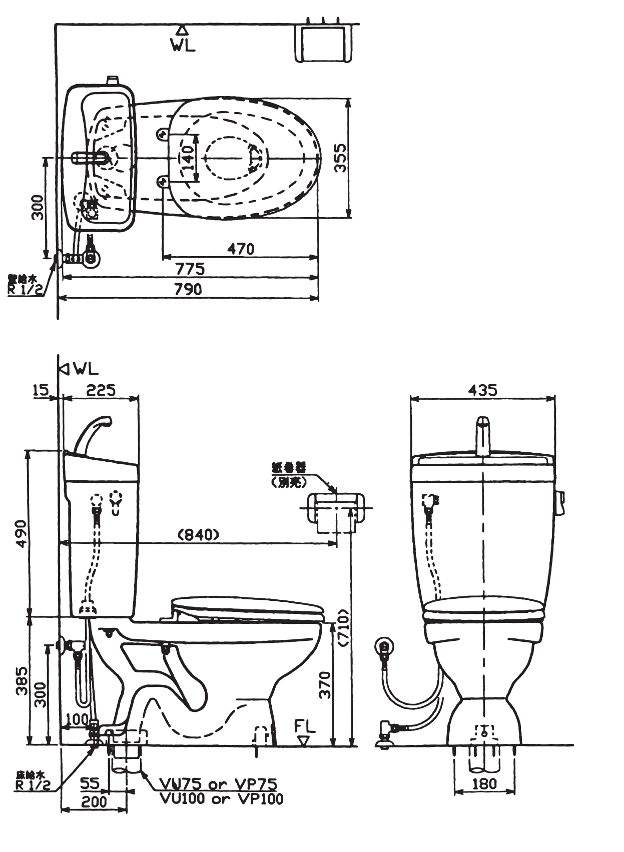
樹脂製ロータンクの場合

排水管接続用パッキン（NC73G）・ベンド管は別途となります。

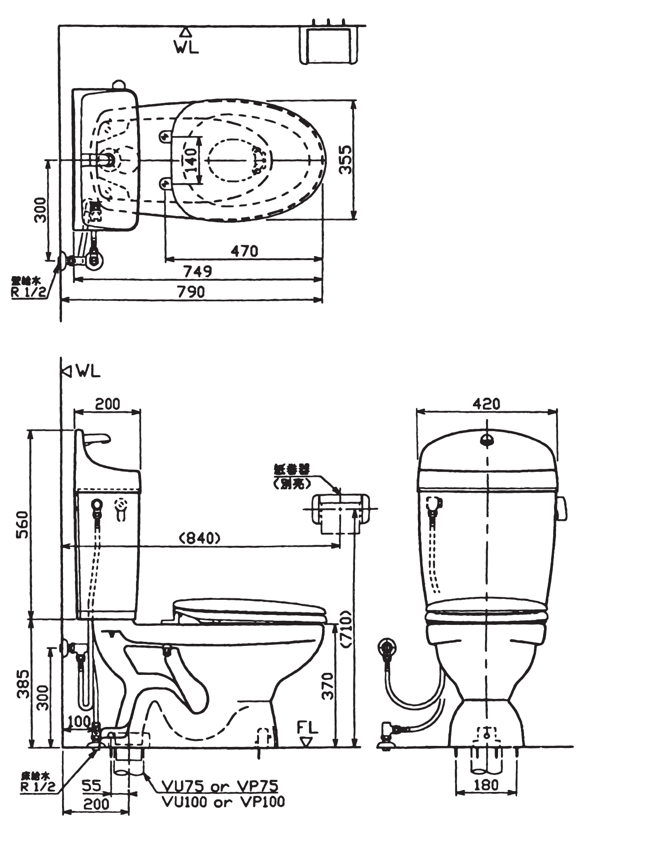


床下排水

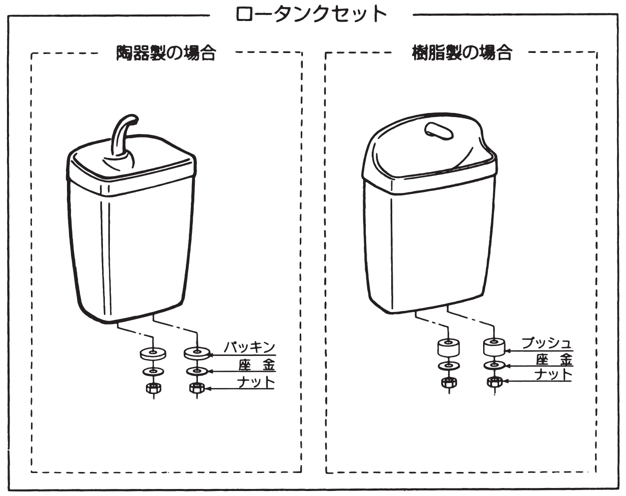
陶器製ロータンクの場合

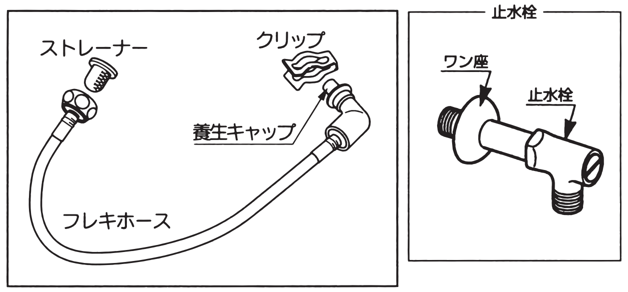


樹脂製ロータンクの場合

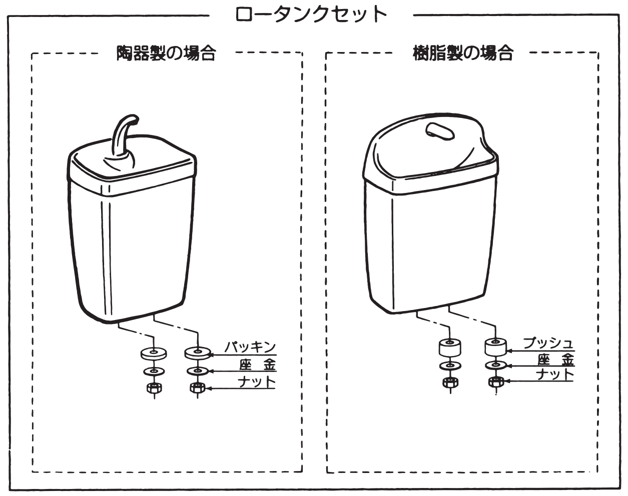


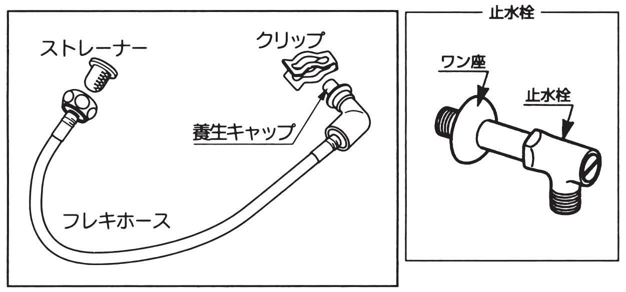
梱 包 内 容





※ロータンクセットに普通便座、紙巻器が同梱される場合があります。





※ロータンクセットに普通便座、紙巻器が同梱される場合があります。

施 工 方 法

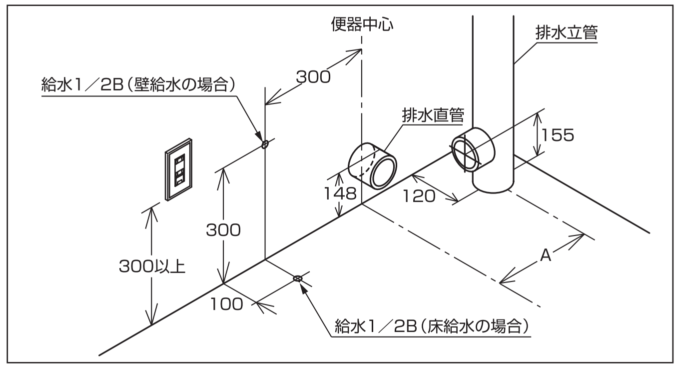
便座を取付ける場合は、それぞれの施工説明書に従って取付けてください。

1 給排水の位置決めと取出し

下図に従って、給水管、排水塩ビ管を取出します。

注 意

便器を取付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ、排水塩ビ管にはビニール袋等でカバーをしてください。



※A寸法は排水立管の種類によって異なります。

2 便器の仮据

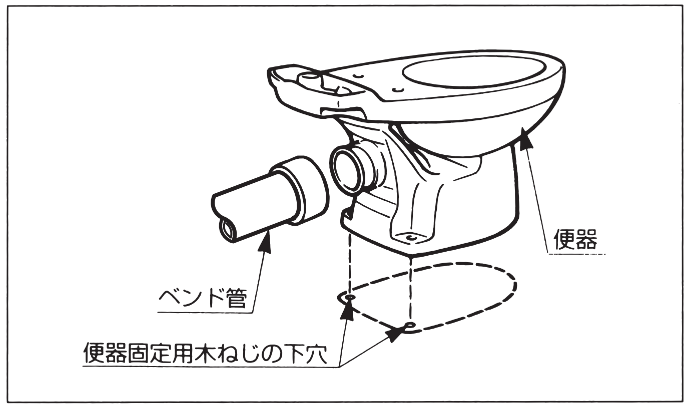
(1) ベンド管を排水立管と便器に仮接続して便器の位置決めをします。この時接続用パッキンは取付けないでください。

(2) 便器固定用木ねじの下穴をあけます。床がコンクリートの場合、下穴（径 11、深さ 70）をあけ、別売のＡＹボルト（ＮＴ 1603 Ｓ）を使用します。

(3) 下穴をあけたら、便器とベンド管をいったんはずしてください。

注 意

ベンド管は別途用意してください。



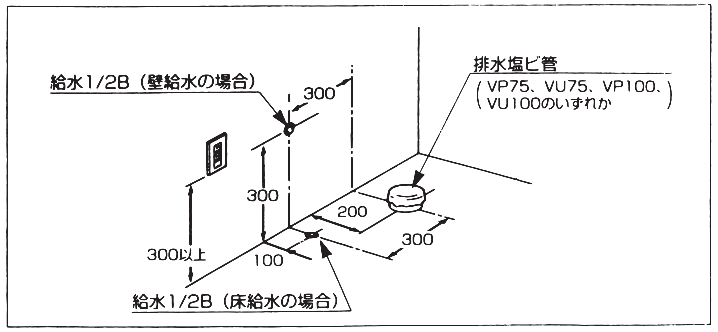
便座を取付ける場合は、それぞれの施工説明書に従って取付けてください。

1 給排水の位置決めと取出し

下図に従って、給水管、排水塩ビ管を取出します。

注 意

便器を取付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ、排水塩ビ管にはビニール袋等でカバーをしてください。



2 排水塩ビ管の切断

●壁、床の仕上げ完了後、排水塩ビ管を切断します。

ＶＰ 75、ＶＵ 75 の場合：床仕上面

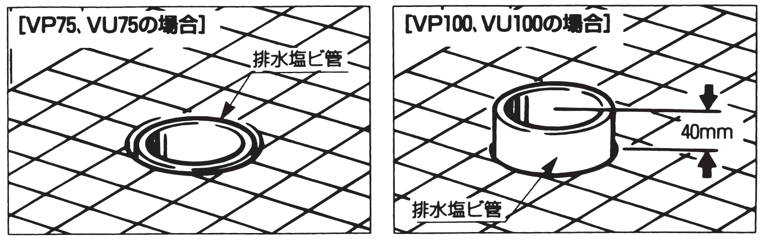
ＶＰ 100、ＶＵ 100 の場合：床仕上面より高さ 40 mm

注 意

切断面は床と平行になるように切断してください。

※切断位置が正確でないと漏水・臭気発生の原因となります。

※床下への漏水防止のため床と排水塩ビ管のすき間をシールしてください。



床上排水

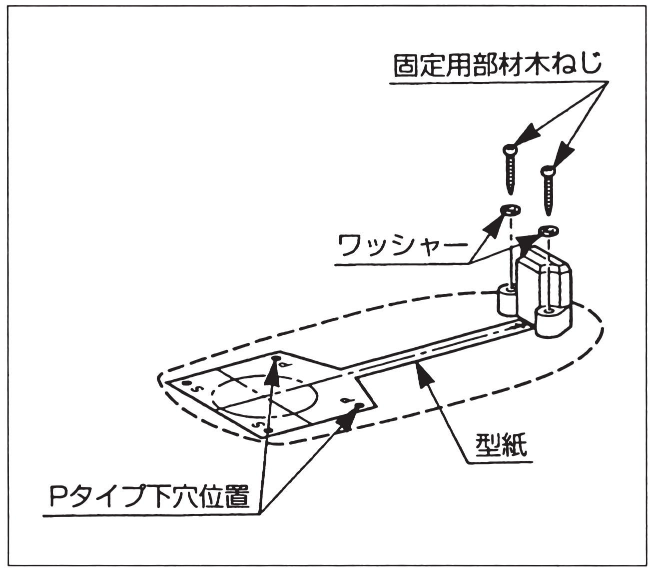
3 固定用部材の取付け

(1) 便器固定用木ねじの下穴に型紙を合わせ、図のように固定用部材の位置決めをします。(2－(2) 参照)

(2) 固定用部材を木ねじで固定します。床がコンクリートの場合、下穴（径 11、深さ 70）をあけ、別売のＡＹボルト（ＡＹ－ 34 Ｗ）を使用します。

注　意

●位置決め後、型紙を必ず取除いてください。



4 接続用パッキンの取付け・ベンド管の接続

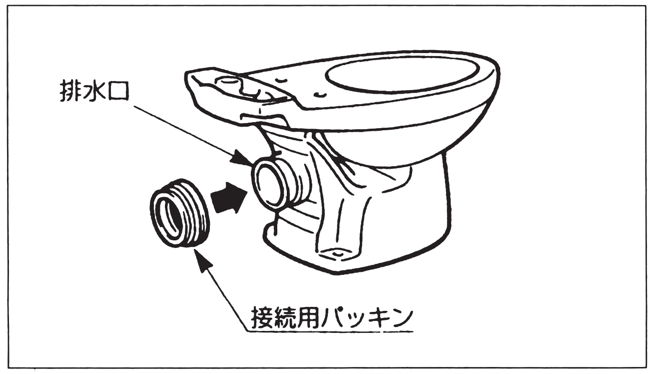
●便器の排水口に接続用パッキンを取付けます。

●ベンド管を排水立管と便器に接続します。

※接続用パッキンの表面とベンド管の内面に石けん水を塗ると接続が容易です。

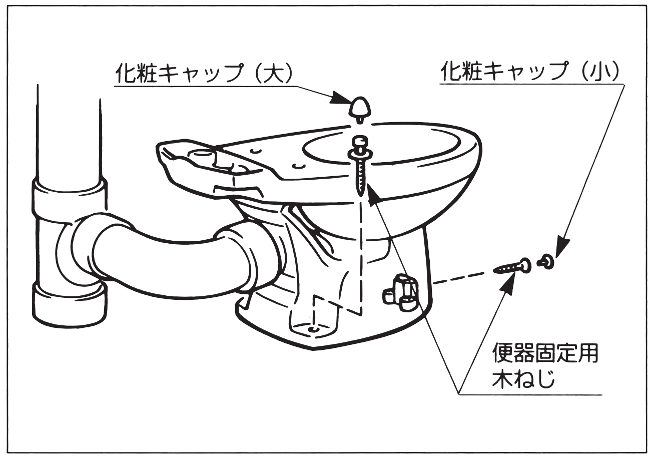
注　意

接続用パッキン（ＮＣ73Ｇ）は別途用意してください。



5 便器の取付け

便器の便器固定用木ねじにて、後方2箇所、前方1箇所（固定用部材側）の順に固定し、化粧キャップを取付けます。



床下排水

3 固定用部材の取付け

(1)排水管の芯に型紙を合わせ、固定用部材の位置決めと便器固定木ねじの位置決めをします。

(2)ワッシャーを介し固定用部材を木ねじで固定します。

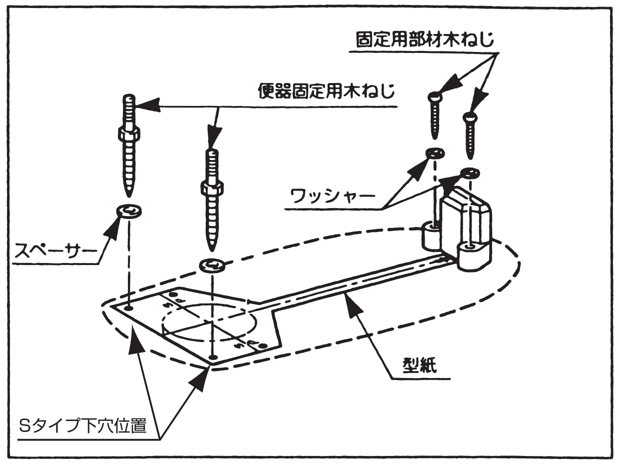
●床がコンクリートの場合、下穴（径11、深さ70）をあけ別売のＡＹボルト（ＡＹ－34W）を使用します。

(3)スペーサーを介し便器固定用木ねじを取付します。

※床がコンクリートの場合、下穴（径11、深さ55）をあけ別売のＡＹボルト（ＡＹ－86Ｄ）を使用します。

注　意

●位置決め後、型紙を必ず取除いてください。



4 排水ソケットの取付け

〔ＶＰ75の場合〕

(1)排水ソケットと排水塩ビ管に塩ビ接着剤を塗って接着します。

※床面までしっかり差し込んでください。

(2)排水ゴムジョイントをしっかり押えつけ排水ソケットに密着させ取付けます。

〔ＶＵ75の場合〕

(1)排水ソケットとＶＵ用ソケットに塩ビ接着剤を塗って接着します。

(2)排水塩ビ管と、排水ソケットに塩ビ接着剤を塗って接着します。

※床面までしっかり差し込んでください。

(3)排水ゴムジョイントをしっかり押えつけ排水ソケットに密着させ取付けます。

〔ＶＰ100、ＶＵ100の場合〕

(1)排水ゴムジョイントの内周にシリコンシーリング剤を塗布してください。

(2)排水ゴムジョイントをしっかり押えつけ排水塩ビ管に密着させ取付けます。

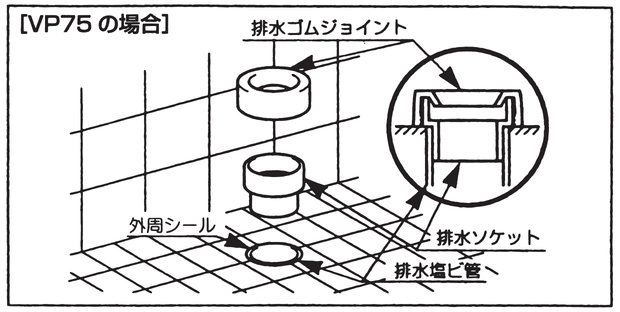
注　意

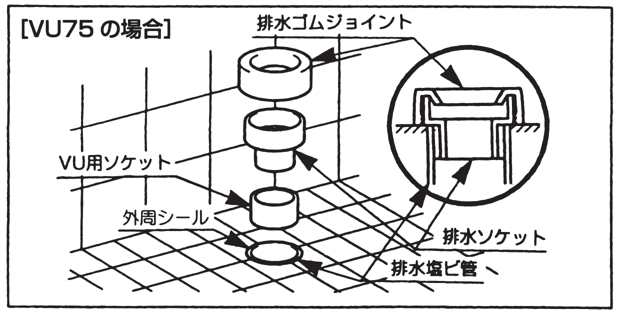
●接着部は、きれいにして作業を行ってください。

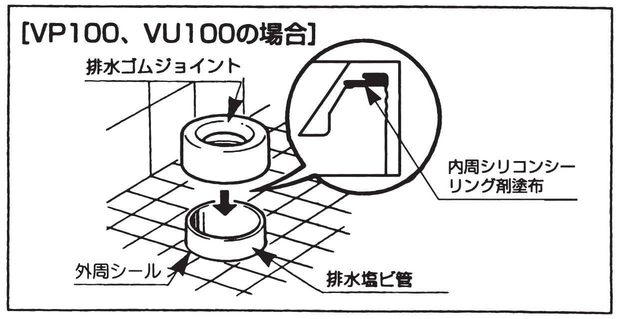
●接着は塩ビ管用接着剤をご使用ください。

●接着は確実に行ってください。接着が不十分ですと漏水、臭気発生の原因になります。

●嵌合がゆるい場合はシリコンシーリング剤を使用してシール接着してください。







5 便器の取付け

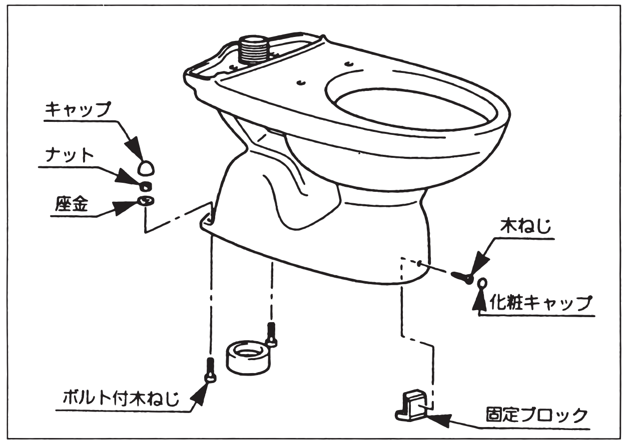
(1)便器の排水口を排水ソケットの排水ゴムジョイントに差し込み、固定ナットにて便器を固定し、化粧キャップ(大)を取付けます。

(2)便器前方から便器固定用木ねじにより完全固定し、化粧キャップ(小)を取付けます。

注　意

陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。

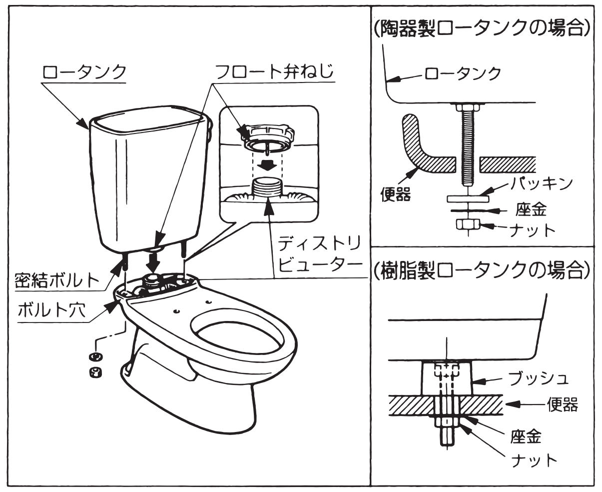
※陶器が割れる恐れがあります。



床上排水と床下排水の共通

6 ロータンクの取付け

(1)ロータンク下面にある密結ボルトと便器のボルト穴を合わせてロータンクを設置します。このときフロート弁ねじの内径部にディストリビューターの先端が入り込むようにロータンクをおろします。
(2)座金·ナットでロータンクを固定します。



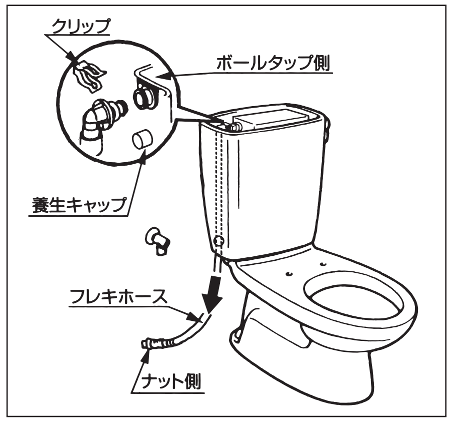
注　意

●ディストリビューターは、必ずフロート弁ねじ内径部に確実にはめ込んでください。
※漏水の原因になります。
●ナットの締付けは片利きのないように左右交互に少しずつ行ってください。
※タンクが割れる恐れがあります。

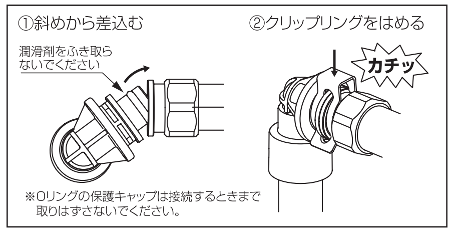
7 フレキホースと給水管の接続　(図ー1、ー2、ー3参照)

(1)タンク内側底面の取出し口の上方からフレキホース(ナット側)を通します。
(2)ワンタッチ接続側の養生キャップを外してから、ボールタップ側に差し込みます。
●差込み時にOリングを傷めないようにしてください。漏水の原因となります。
●ストレーナー、クリップは、紛失しない様にしてください。
(3)付属のクリップで、フレキホースとボールタップを固定します。
●ワンタッチ接続の施工確認のため、必ず取付けてください。
(4)給水管取出し口に止水栓を取付けます。
●ネジ部にはシールテープ等のシール材を巻き付けてください。
(5)タンク底面から取出したフレキホースを止水栓に取付けます。
●ストレーナーを忘れない様にしてください。異物が入りますと、作動不良または故障の原因となります。
●ナットを締め過ぎるとパッキンを破損させたり、短期間で劣化を招く恐れがありますので十分注意してください。

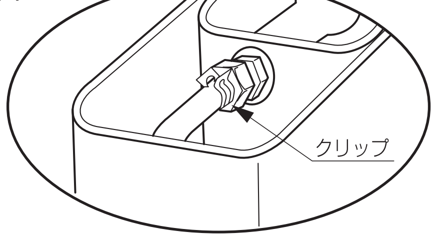
図ー1



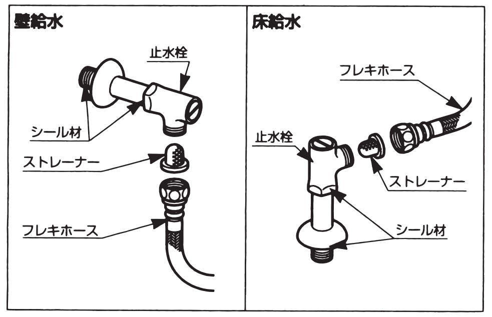
図ー2



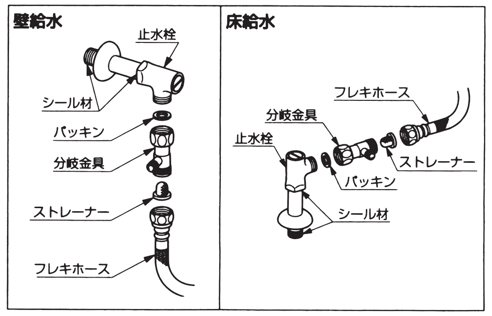
図ー3



(普通便座・暖房便座仕様の場合)



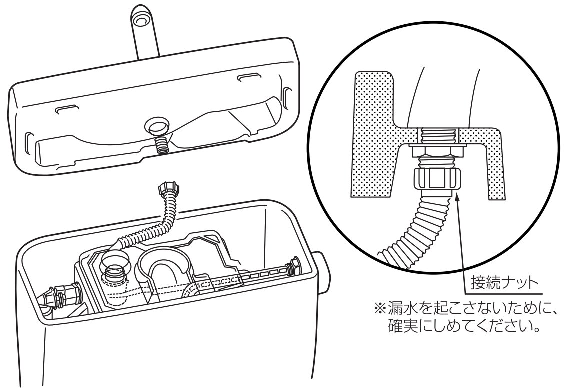
(温水洗浄便座仕様の場合)



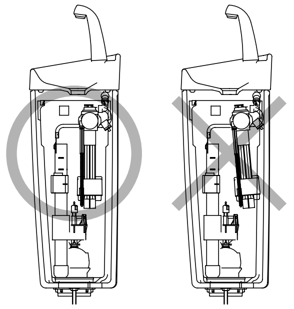
8 タンク蓋の取付け

陶器タンクの場合

●接続ナットを手洗吐水管に接続し、蓋をのせます。



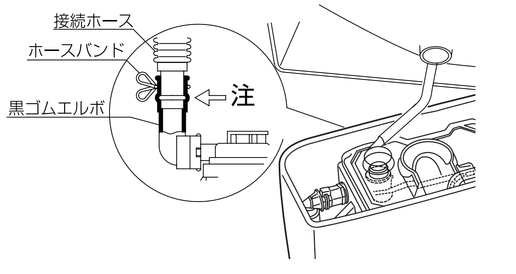
注意



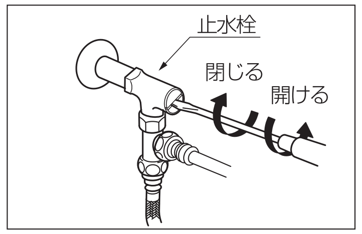
ボールタップが傾いた場合は垂直に直してください。

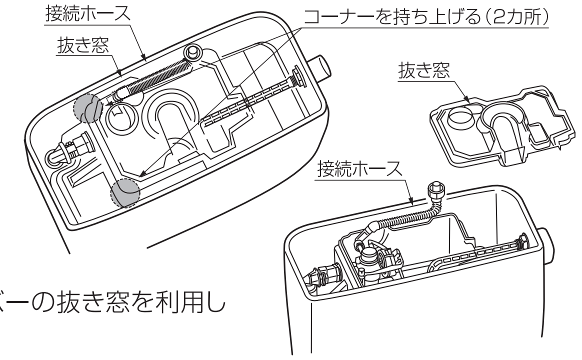
樹脂タンクの場合

●ボールタップと手洗接続ホースを接続します。
(1)黒ゴムエルボの内溝と接続ホースの山が、かみ合うまで差し込む 下図注参照
(2)黒ゴムエルボの内差し込み部分のホースバンドで止める。
※漏水防止のため必ずホースバンドで止めてください。



9 調整

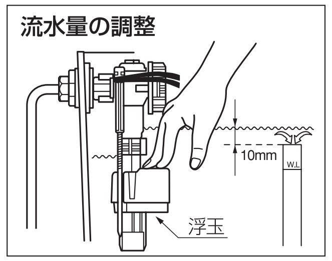




【流水量の調整】

●万一ボールタップが止水しない場合でもタンクから水があふれないようにするために、次の要領で必ず調整してください。
(1) 止水栓を閉じます。
(2) インナータンクカバーのコーナーを持ち上げ外します。
※インナータンクカバーは、コーナーを持ち上げ気味に外します。このとき、カバーの抜き窓を利用して接続ホースを通しながら着脱してください。
※接続ホースは外さないでください。
※手洗付の場合、接続ホースをタンク内に入れて水が飛ばないようにしておいてください。
(3) ボールタップの浮玉を押し下げながら、止水栓をゆっくり開きます。
この状態から
(4) 水面がオーバーフロー管上端より10mm以上にならない程度に止水栓の開きを調整します。

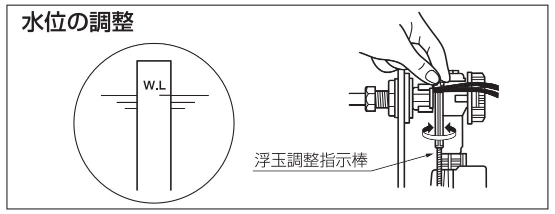
流水量の調整



【水位の調整】

●止水栓の開きを調整した後、ロータンクに給水した時に、水位がオーバーフロー管に表示されたW.Lとずれている場合は、水位の調整をしてください。
●水位がW.Lより上の場合、浮玉調整指示棒を左にW.Lより下の場合、浮玉調整指示棒を右に回して調整します。

水位の調整



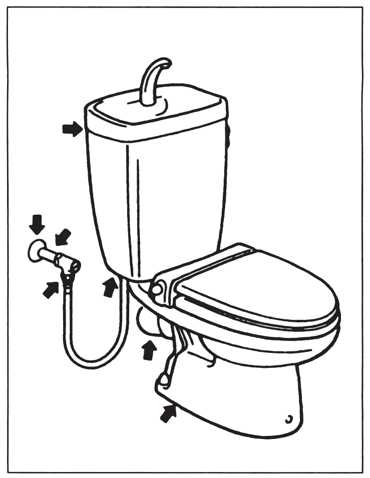
お願い
●接続ホースは、強く引っ張らないでください。
●調整後は元の状態に戻してください。

10 便座の取付け

便座の施工説明書をご参照ください。

11 水漏れ点検

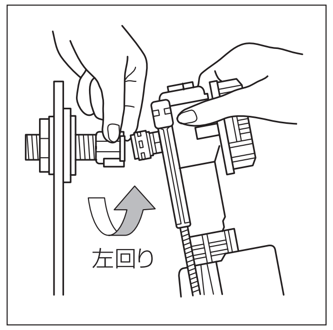
(1)洗浄ハンドルを操作して数回洗浄し、各接続部に漏水がないことを確認します。同時にフロート弁の開閉、ボールタップの作動、洗浄ハンドルの戻り具合等、ロータンク内部金具に不具合がないことを確認します。
(2)便器鉢内に長さ760mmのトイレットペーパーを丸めたもの7個を入れ、これが1回の洗浄で排出できることを確認します。

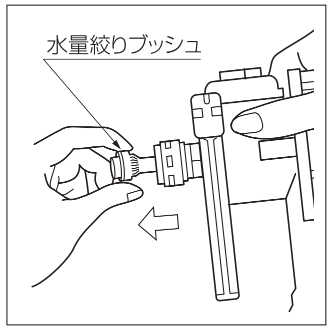


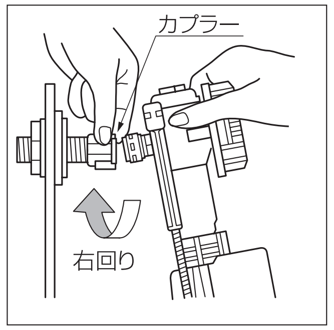
ワンポイント

●水の出が悪い場合
ストレーナーを掃除してください(7参照)
●タンクへの給水時間が長すぎる場合水圧が低いことが予想されます。
以下の要領で、水量絞りブッシュを取外してください。
(1)止水栓を閉めます。
(2)カプラーをボールタップ本体に対し、左回りに1/8回転して取付け脚部から取外します。
(3)ボールタップ本体の中にある水量絞りブッシュを取出します。
(4)再びボールタップ本体を取付け脚部にあて、カプラーを右回りにカチッと音がするまで回転させ取付けます。
※作業終了後、ボールタップがまっすぐ取付いていることを確認してください。
(5)止水栓を開きます。

注　意
排水接続部の水漏れ点検は、数回繰り返して水を流さないと確認が困難な場合があります。







お願い
●カプラーを回す時にはボールタップ本体を押さえながら行ってください。
●止水栓を動かした場合は、必ず流水量の調整をしてください。

ジャニス工業株式会社

本社　〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地　☎〈0569〉35-3151